



患者支援NEWS

第5号

部門紹介

患者支援センターのご紹介



患者支援センターは、西大宮病院を利用される患者さん・ご家族を支援するための部門として、リハビリ病棟1階に設置されています。

入院や外来での各種相談(疾病、日常生活や入院中の不安、医療費等)や近隣の関係諸機関からの相談に対し、医師・看護師・社会福祉士・介護支援専門員・事務職員が協同し、切れ目ない支援を目標に業務にあたっています。

また、患者支援の観点から毎年11月に「患者満足度調査」を実施しています。アンケート結果をもとに、患者さんが利用しやすい病院作り、病院の質の向上を目指し、院内各部署と協議を行い改善に努めています。例年多くの方にアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。

トピックス

●整形外科よりご案内

中井生男(なかい いくお)医師が2024年4月より常勤医になりました。

専門領域: 整形外科 一般、外傷、手外科

外来診療: 火曜AM・PM(第2・第4)

木曜AM

金曜PM(第1・第3・第5)

土曜AM

●モバイルWi-Fi持ち込み制限緩和

2023年度に実施した患者満足度調査でご要望の多かった「入院中のモバイルWi-Fi使用」について、2024年4月1日より持ち込み制限を緩和し、入院中もモバイルWi-Fiを使用できるよう院内の環境整備を行いました。



患者支援NEWS

第6号

部門紹介

当院での眼科治療のご案内(新しい緑内障治療)

最近テレビでもよく話題になる“白内障”と“緑内障”。名前は似ていますが、全く異なる病気です。白内障は、英語でcataract(キャタラクト:語源は“滝”で脳から白いものが流れてきてたまったもの)と言います。実際には、眼の中の“水晶体”というレンズが加齢変化で濁ってしまう病気です。現在の日本では、多くの病院で手術が行われているため白内障で失明する方はほとんどいません。

一方の緑内障は、英語でglaucoma(グラコーマ:こちらは“青緑”で日本語も同じような感じ)と言います。眼の中の圧力(眼圧:眼にとっての血圧)が上昇し、徐々に視野(見える範囲)が減っていく病気です。緑内障治療の基本は、点眼薬で眼圧をコントロールすることですが、1日1回の薬から1日3回必要なものまで様々なうえ、患者さんによっては4種類も必要な方もいらっしゃいます。さらに、お年をとってくると手指が動かしくなり、点眼自体が難しくなってきます。残念ながら、緑内障は失明原因の第1位です。超高齢化していく日本において、緑内障は特に注意すべき疾患とみなされています。

当院では、白内障と緑内障の同時手術も行っています。iStent(アイステント)と呼ばれるチタン製の小さなステントを眼の中に埋め込んで、持続的に眼圧を下げる治療です。金属が眼に入ることMRIが受けられなくなるのではといった心配もあると思いますが、現在行われているMRI検査は通常通り受けることができます。

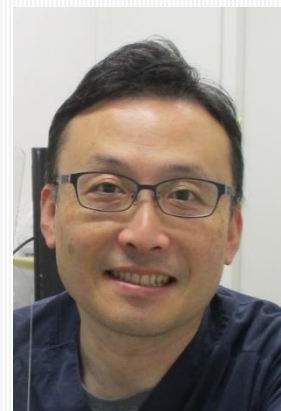
ご興味のある方は眼科医までご相談ください。

《iStent治療のメリット》

点眼本数が減らせる(場合によっては点眼が不要となる方もいる)
白内障手術と同時に行える
保険診療で行える

《iStent治療のデメリット》

金属アレルギーの方は適応外
すでに眼科手術を受けた方は適応外



眼科 澤野宗顕 医師

トピックス

●病院駐車場 精算方法リニューアル

- 6/5(水)より、駐車場が「車両ナンバー読み取り・事前精算式」にリニューアルされます。
- ※入庫時に駐車券は発券されません。
- ※駐車場をご利用の方は、サービス券を発行致しますのでお会計時にお声がけください。
- ※各駐車場内の事前精算機で精算後は、30分以内の出庫をお願いします。
- ※第2駐車場(リハビリ棟向かい側)は、関係者専用駐車場に変更されたため患者さんは利用できません。

●さいたま市中学生職場体験事業 未来くるワーク(デイケア)

- 市内の中学生が、当院デイケアでの職場体験に下記日程で来院します。デイケアご利用の方々にしましては、御理解と御協力の程、宜しくお願い致します。
- 6/18-6/20(日進中3名)
- 6/26-6/28(大成中3名)



部門紹介

リハビリテーション科のご紹介(リハビリ職種の役割)



今回は、リハビリテーション科の理学療法士(PT)・作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の仕事について説明したいと思います。

まず、理学療法士は「起きる」「立つ」「歩く」などの基本的な動作を主としてリハビリを行う職種です。作業療法士は、「洋服を着る」「食事を作る」「字を書く」など日常生活活動に対してリハビリを行う職種です。言語聴覚士は「しゃべる」「聞く」が主になりますが、「食べて飲み込む」といった摂食・嚥下のリハビリも専門になります。

リハビリは英語で書くと「Rehabilitation」になりますが、その語源は「Re:再び」と「Habilis:適する」が合わさったものです。怪我をしたり病気になったりすると今まで出来ていたことが出来なくなる。それを再び出来るようにする事がリハビリ専門職の役割です。当院では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が合わせて80名ほど在籍しております。各職種が「患者さんとその家族が、より良い家庭生活を送れるようにすること」を目標にリハビリを行っております。

リハビリテーション科 科長 渋谷

トピックス

●市民公開講座のご案内

下記の通り、第1回 市民公開講座開催予定。事前申込不要ですのでお気軽にご参加ください。

開催日:2024年9月13日(金)14:00-15:30(13:30受付開始)

場所:本棟増築棟4階 多目的室

内容:「手の更年期障害と変形性関節症」 講師 中井生男(整形外科 医師)他



患者支援NEWS

第8号

看護部紹介

ふれあい看護体験(一時救命処置)



看護研究



看護部の理念は、「多様化する社会のニーズに対応できる 真心のこもった看護の提供と看護の質の向上に努めます」と掲げています。患者さん一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して治療に専念できる環境を整えるために日々研鑽に励み、チーム医療の一員として他職種と連携しながら「真心のこもった看護の提供」に努めています。また、地域との連携を図り、患者さんが退院後も安心して住み慣れた地域へ笑顔で戻ることが出来るよう取り組んでいます。

看護部活動では、「看護研究発表会」や「創意工夫展」、「ふれあい看護体験」を開催しています。「看護研究発表会」や「創意工夫展」は、看護サービスの質の向上や地域の皆さんとのコミュニケーションを図る事を目的にしており、「ふれあい看護体験」は、社会人の方や高校生を対象に看護の魅力を伝え、患者さんとの触れ合いや看護体験を通じて、看護師を目指すきっかけとなることを期待しています。

私たちは、地域の皆さんの健康と安心を守るため、温かな対応と傾聴に努め、信頼される看護部を目指して参ります。

看護部長 高橋竜子

トピックス

●講演会のお知らせ

眼科 澤野宗顕先生：12/12木曜 Vivinex Impress Web講演会 演者(医療機関関係者向け講演会)

●患者満足度調査

当院では、病院の質向上を目的とし、定期的に「患者満足度調査」を行っています。
本年も下記日程での予定しており、是非お一人でも多くの方に御協力をお願いいたします。

《実施期間》2023年11月21日～11月30日

《実施場所》各科外来、各入院病棟

《対象》 》当院に通院・入院中の患者さんや家族



患者支援NEWS

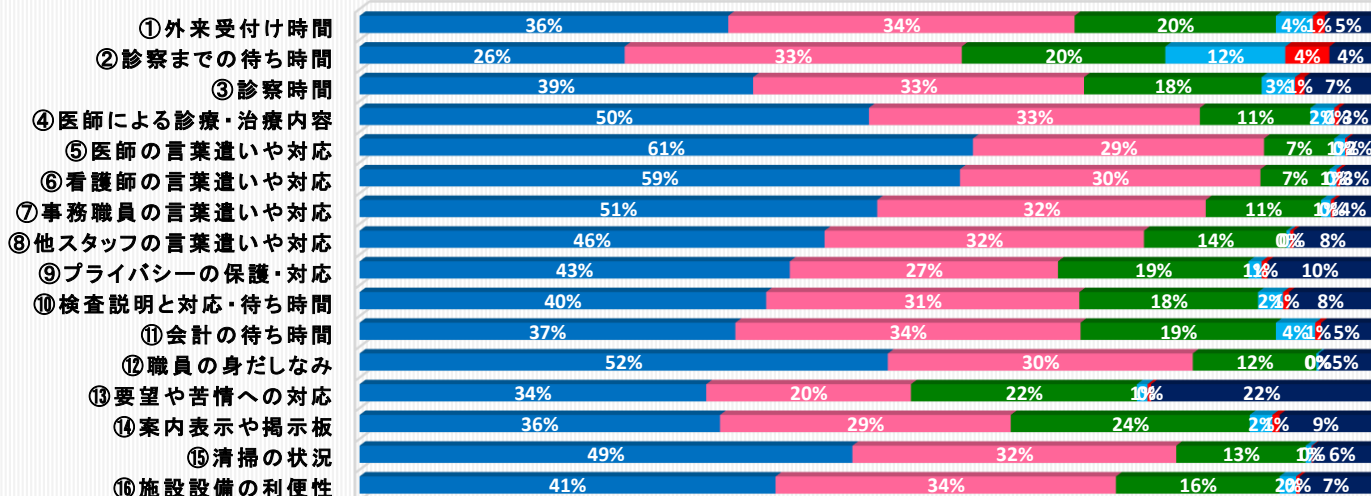
第9号

患者満足度調査結果のお知らせ

令和6年11月25日から11月30日に実施しました患者満足度調査の集計結果を公表させていただきます。
調査結果を受け、医療サービスの改善及び質の向上を目指し、皆様が満足できる病院づくりに取組んでまいります。
ご協力いただきました皆様、この度は誠に有難う御座いました。

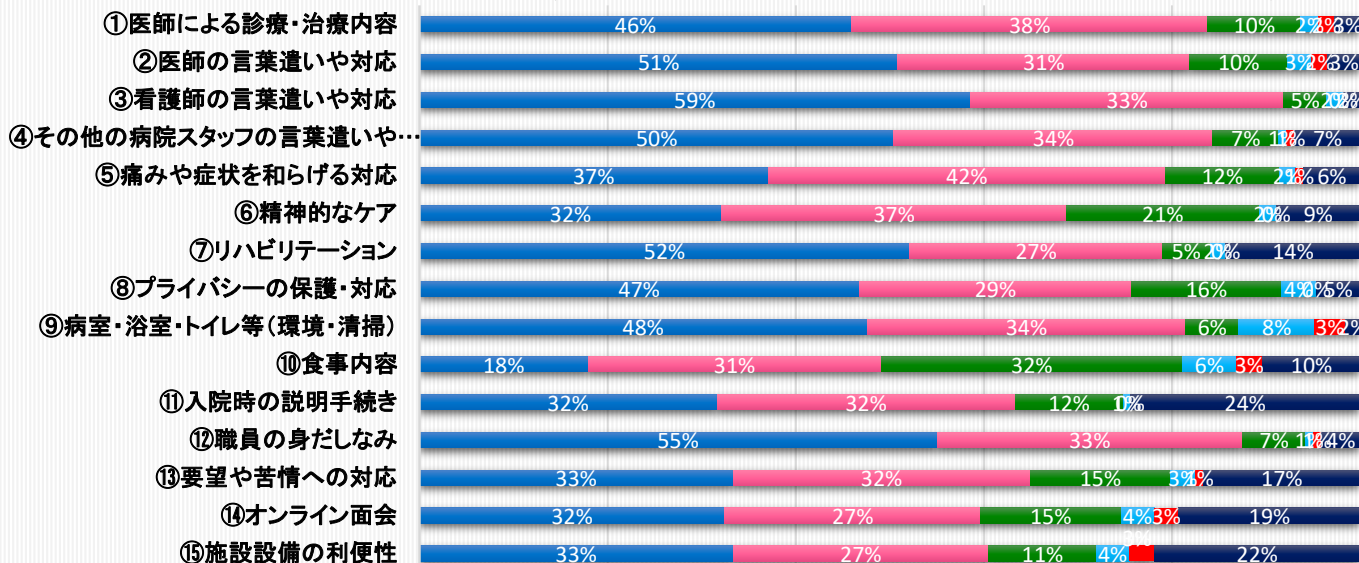
外来 856枚

■とても満足 ■やや満足 ■どちらでもない ■やや不満 ■不満 ■該当なし



入院 114枚

■とても良い ■やや満足 ■どちらでもない ■やや不満 ■不満 ■該当なし



トピックス

●感染対策WEB研修会のお知らせ(高齢者施設・障害者施設向け)

主 催:自治医大さいたま医療センター、さいたま市民医療センター、彩の国東大宮メディカルセンター

テーマ:場面別感染対策 オムツ交換・吐物処理・吸引

日 時:3月7日、3月17日、3月27日

方 法:ZOOM配信



視聴希望の方はQRコードから申込み視聴ください。

ミーティングID:934 8402 7633 パスコード:895510

患者支援センター